

令和3年11月吉日

農機利用者殿

豊橋農業協同組合長
愛知県豊橋警察署長

農機による事故を防止するための安全対策について（依頼）

謹啓 清秋の候、貴台におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、交通安全活動を始め、農業協同組合や警察の活動各般にわたり格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、豊橋市内では、10月30日の午前中に、トラクターが横転し下敷きになった60代の男性が死亡する事故が発生しました。

豊橋市内では、令和元年中にもトラクターが横転する事故により2名の方が亡くなっています。

豊橋農業協同組合と豊橋警察では、緊密に連携して農作業における安全啓発を行っているところでありますが、農機を利用されている方々には、改めて

- 確実な運転操作とブレーキ連結の確認
- 安全キャブ、フレームの装着
- シートベルト、ヘルメットの着用
- ランプ類や低速車マーク等の取り付け

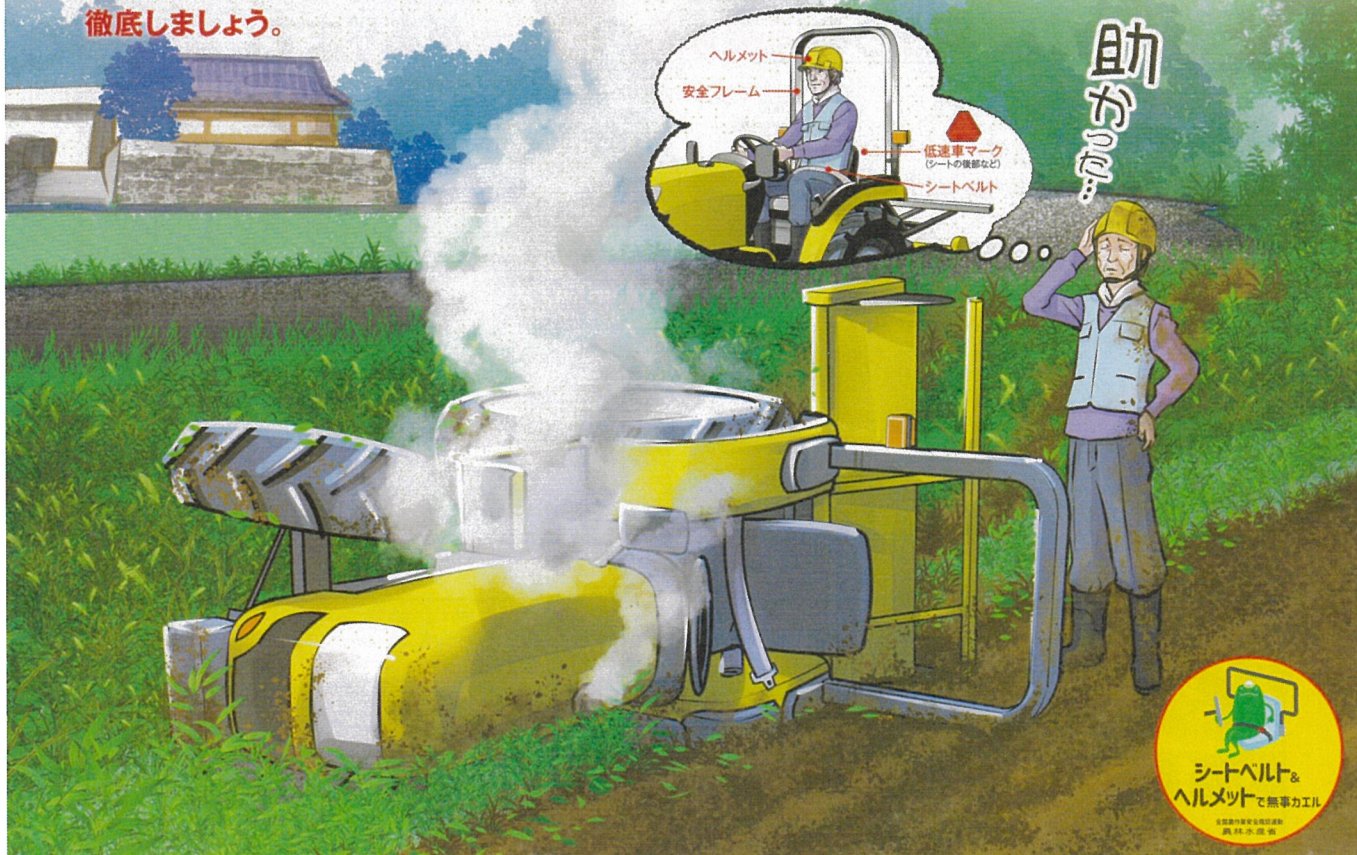
等の農機による事故を予防するための安全対策を実施していただくようお願い申し上げます。

結びに貴台の益々の御発展を祈念申し上げます。

敬白

安全確認と予防対策で公道での農機による死亡事故を防ぎましょう!

安全フレーム、安全キャブ付きトラクターを使用し、低速車マークの設置、シートベルト・ヘルメット着用を徹底しましょう。



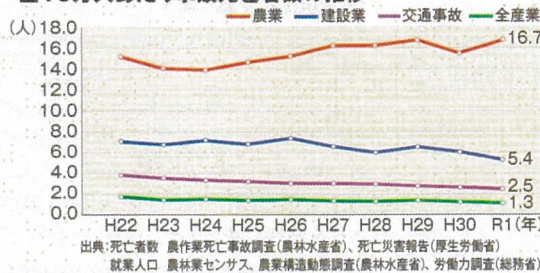
トラクター等の整備不足や操作ミスが転落・横転・追突の事故を引き起こします。

農林水産省の最新の調査データによると、近年300人前後の方々が農作業中の事故で亡くなっています。

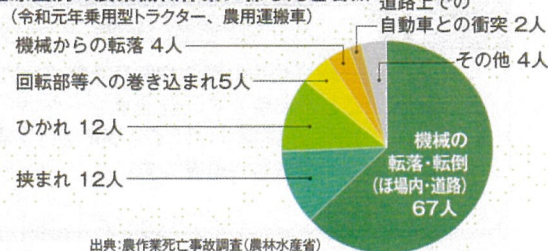
グラフからもわかるように、農作業中の死亡事故は一般交通事故の約7倍、建設業の約3倍にも及びます。

農機事故を未然に防ぐために備えるべき機器(ランプ等)や操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。

■10万人あたり事故死者数の推移

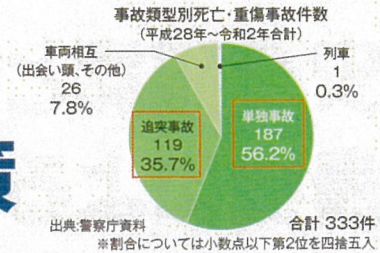


■原因別の農業機械作業に係る死者数



詳しい要因、対策は裏面へ▶

公道での農機による交通事故の要因と対策



事故発生の要因

公道での農機の交通事故は大きく分けて**単独事故**と他の車両からの**追突事故**の2種類があります。

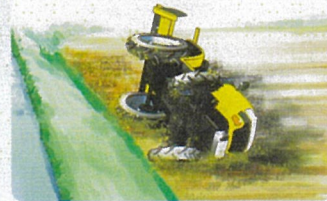
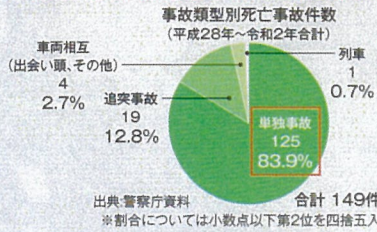
単独事故

1. 用水路等への転落

運転操作ミスや道路環境が悪いことにより、田畑や用水路等へ転落。

2. 傾斜地での横転等

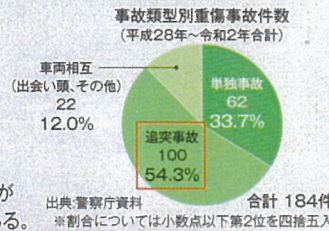
農機は通常の車に比べ重心位置が高いため傾斜地等でバランスを崩して横転。傾斜地等で自然に動き始めた農機にひかれる事故。



追突事故

夜間等における追突

夜間は後続車から農機が発見されにくく、追突事故が起こる。昼間のトンネル内でも追突事故の事例がある。



事故を防止するには

事故防止の対策

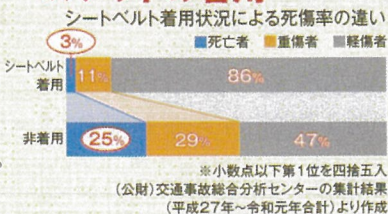
公道での農機による交通事故対策の**3つのポイント!**
対策と準備が重大な事故を防止します。

ポイント1 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

農機による死亡事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況等に応じた確実な運転を行いましょう。道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。農作業前後に道路上を走行する際は、ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

ポイント2 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用*しましょう(安全フレームは倒さずに使いましょう)。農機による交通事故においても、シートベルト着用の有無により死傷状況が大きく異なります。トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。また、ヘルメットの着用にも努めましょう。
※車種によっては取り付けられないものもあります。



ポイント3 ランプ類や低速車マーク等の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気づいてもらうことが大切です。「低速車マーク」や「反射板」を設置しましょう。また、作業機を付けて公道を走行するためには、基本的にランプ類の増設等が必要です。

